

工事監理状況報告書(木造枠組壁工法)

令和7年7月1日作成 高崎市

中間検査

(あて先) 建築主事

令和 年 月 日

確認済証番号	令和	年	月	日	第	号	確認機関名
" (変更)	令和	年	月	日	第	号	確認機関名
工事場所	建築主 氏名						

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法12条5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	☐ 工事監理者	会社住所	
	☐ 工事施工者	会社名	
		報告者名	

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
		A:目視		
		B:計測		
		C:その他		
1 確認表示板(法89)	1 建築確認表示板の設置	A	適:不適	
2 工事現場の危害の防止(90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	A	適:不適	
3 敷地の衛生及び安全(法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	A:B:C	適:不適	
4 敷地と道路の関係 (法42 43)	1 道路の幅員	A:B:C	適:不適	
	2 道路に接する敷地の長さ	A:B:C	適:不適	
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	A:B:C	適:不適	
	4 2項道路の後退	A:B:C	適:不適	
5 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	A:B:C	適:不適	
	2 基礎形状・建物形状	A:B:C	適:不適	
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	A:B:C	適:不適	
6 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	A:B:C	適:不適	
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	A:B:C	適:不適	
7 基礎・地盤(令38、告示1347)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法()	A:B:C A:B:C	適:不適	
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容()	A:B:C A:B:C	適:不適	
	3 基礎種別の確認 ☐ 連続 ☐ べた ☐ 独立 ☐ 杭	A:B:C	適:不適	
	4 各部材の形状、寸法の確認	A:B:C	適:不適	
	5 配筋の確認(径、間隔、かぶり、継手、定着、貫通補強等)	A:B:C	適:不適	
	8 居室の床の高さ及び防湿方法(令22)	A:B:C	適:不適	
9 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)	1 木材、コンクリート、鉄筋、屋根材、外壁材、接合金物等の種類・品質・形状・寸法	A:B:C	適:不適	
10 土台(令42)	1 基礎との緊結(アンカーボルトの位置・接合方法)	A:B:C	適:不適	
11 床版(告示1540)	1 根太(床・端・側)の形状・寸法・間隔・転び止め	A:B:C	適:不適	
	2 開口部補強	A:B:C	適:不適	
	3 耐力壁直下の床根太補強	A:B:C	適:不適	
	4 床材の厚さ	A:B:C	適:不適	
	5 各部材相互の緊結	A:B:C	適:不適	
12 耐力壁等(告示1540)	1 耐力壁の配置(壁量計算書との照合)	A:B:C	適:不適	
	2 上、下、たて寸寸法・規格	A:B:C	適:不適	
	3 耐力壁線相互の距離、耐力壁線により囲まれた部分の水平投影面積	A:B:C	適:不適	
	4 外壁の耐力壁線相互の交さる部分	A:B:C	適:不適	
	5 耐力壁のたて枠相互間隔	A:B:C	適:不適	
	6 各耐力壁の隅角部及び交さる部	A:B:C	適:不適	
	7 耐力壁のたて枠と直下の床の枠組みとの緊結	A:B:C	適:不適	

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
		A:目視		
		B:計測		
		C:その他		
12 耐力壁等(告示1540)	8 頭つなぎ	A : B : C	適 : 不適	
	9 耐力壁線に設ける開口部の幅等	A : B : C	適 : 不適	
	10 開口部上部のまぐさ	A : B : C	適 : 不適	
	11 筋かいの欠込み	A : B : C	適 : 不適	
	12 各部材相互の緊結	A : B : C	適 : 不適	
13 根太等の横架材(告示1540)	1 横架材の欠込みが無いこと	A : B : C	適 : 不適	
14 小屋組等(令46, 告示1540)	1 たるき及び天井根太の 寸法・規格	A : B : C	適 : 不適	
	2 たるき相互の間隔	A : B : C	適 : 不適	
	3 たるきつなぎ	A : B : C	適 : 不適	
	4 トラス	A : B : C	適 : 不適	
	5 たるき又はトラスと頭つなぎ及び上枠との緊結	A : B : C	適 : 不適	
	6 振れ止め	A : B : C	適 : 不適	
	7 屋根版	A : B : C	適 : 不適	
	8 屋根下地の寸法・規格	A : B : C	適 : 不適	
	9 各部材相互の緊結	A : B : C	適 : 不適	
	10 開口部の幅等	A : B : C	適 : 不適	
	11 開口部上部のまぐさ	A : B : C	適 : 不適	
15 防腐防蟻措置(令49)	1 防腐・防蟻措置(土台・柱・筋かい)	A : B : C	適 : 不適	
16 その他		A : B : C	適 : 不適	
※3		A : B : C	適 : 不適	
		A : B : C	適 : 不適	
		A : B : C	適 : 不適	
		A : B : C	適 : 不適	

※4 その他の照合方法	

検査に 用いる 図書の 例 ※5	確認関係図書	■ 確認申請図書 ■ 告示第1347号による基礎構造図 ■ 床伏せ図、壁伏せ図、屋根伏せ図
	工事監理記録	■ 支持地盤確認 ■ 基礎配筋検査 ■ 枠組等構造検査 ■ その他検査・確認
	使用材料の品質を示す書類 (写真も可)	■ 鉄筋・鉄骨ミルシート ■ コンクリート納入書・試験結果等 ■ 木材納品書 ■ その他使用材料品質証明書
	その他	■ 工事写真 ■ 各種施工結果報告書(杭・地盤改良等) ■ 各種施工要領書

検査に 用いる 工事写 真の例	材料	・構造耐力上主要な部分(鉄筋などの中間検査時に見えない箇所)
	施工状況 (適切な工事監理の実施が確認できれば、全箇所ではなく種類毎の写真提示も可)	・支持地盤の状況
		・基礎配筋の状況(底盤、立上り、開口補強、配管用スリーブ等)
		・アンカーボルト(ホールダウン用、土台用)の設置状況(埋め込み長さ、フック)
		・型枠施工状況(各部の寸法等)
		・型枠脱型後のコンクリートの状況
	基礎	・1階床下の状況
		・接合部に応じた接合具の種類、本数
		・耐力面材に用いられる接合具の種類、間隔

※1 照合方法は、A : B : Cに○印を記入して下さい。（該当しない項目は記入しないで下さい）

※2 照合結果は、「適」・「不適」のいずれかに○印を記入してください。工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」に○印を記入し、建築主に対し報告した内容を備考に記入して下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「16その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 照合方法が「C:その他」の場合は、その項目番号とその他照合の動作や試験結果成績書等による具体的方法を記入して下さい。

※5 「■」の図書について、該当する工事が無い場合は用意不要です。